



2015年第3四半期決算説明資料

2016年1月29日



A. 2015年度第3四半期決算概要

- A-1-① 第3四半期決算概要（全社）
- A-1-② 第3四半期決算概要（セグメント別）
- A-2 第3四半期累計実績のポイント
- A-3-① 通期業績予想（全社）
- A-3-② 通期業績予想（セグメント別）
- A-4 通期業績変動のポイント
- A-5 コスト削減の進捗状況

B. 部門別業績動向

- B-1 コンテナ船
- B-2 不定期専用船 – ドライバルク
- B-3 不定期専用船 – 自動車船
- B-4 不定期専用船 – LNG船・油槽船
- B-5 海洋資源開発及び重量物船

A. 2015年度第3四半期決算概要



A-1-①. 第3四半期決算概要（全社）

（単位：億円）

	2015年度実績			2014年度 実績 9ヶ月累計	増減額
	上期	3Q	9ヶ月累計		
売上高	6,683	3,094	9,778	10,151	▲ 373
営業損益	188	▲ 36	152	403	▲ 251
経常損益	160	▲ 42	117	462	▲ 345
四半期純損益（※）	117	▲ 24	93	330	▲ 237
為替レート	¥121.76	¥121.23	¥121.58	¥105.80	¥15.78
燃料油価格（消費単価）	\$352	\$271	\$325	\$588	▲ \$263

（※）親会社株主に帰属する四半期純損益

主な財務指標

（単位：億円）

	2015年度 3Q末	2014年度 期末	増減額
自己資本	4,257	4,415	▲ 158
有利子負債	5,193	5,368	▲ 175
営業CF	364	1,018	-
投資CF	▲ 102	▲ 112	-

（単位：％）

	2015年度 3Q末	2014年度 期末	増減
DER	122.0	121.6	0.4
NET DER	66.2	66.7	▲ 0.5
自己資本比率	36.2	36.1	0.1

【前年同期比】

為替変動：15.78円安 ⇒ +95億円

燃料油価格変動：\$263/MT安 ⇒ +342億円

A-1-②. 第3四半期決算概要 (セグメント別) 川崎汽船株式会社

(単位：億円)

セグメント		2015年度実績			2014年度 実績 9ヶ月累計	増減額
		上期	3Q	9ヶ月累計		
コンテナ船	売上高	3,376	1,451	4,827	5,038	▲ 211
	経常損益	31	▲ 74	▲ 42	182	▲ 224
不定期専用船	売上高	2,967	1,491	4,458	4,519	▲ 62
	経常損益	188	75	263	327	▲ 64
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	150	58	209	299	▲ 90
	経常損益	▲ 36	▲ 29	▲ 65	▲ 41	▲ 24
その他	売上高	190	94	285	294	▲ 9
	経常損益	9	3	12	32	▲ 20
調整額	売上高	-	-	-	-	-
	経常損益	▲ 33	▲ 18	▲ 51	▲ 38	▲ 13
合計	売上高	6,683	3,094	9,778	10,151	▲ 373
	経常損益	160	▲ 42	117	462	▲ 345

A-2. 第3四半期累計業績のポイント

＜前年同期比＞ 減収（▲373 億円）・減益（▲345億円）

（単位：億円）

損益変動要因	前年同期比	概況
為替変動	95	為替15.78円安
燃料油変動	342	燃料油価格\$ 263/MT安
市況変動	▲ 670	コンテナ運賃下落、ドライバルク船市況低迷
コスト変動	70	コンテナ船をはじめとするコスト削減
その他	▲ 182	燃料油スワップ精算、為替差損益の変動など
合計	▲ 345	

A-3-①. 通期業績予想（全社）

（単位：億円）

	2015年度					2Q決算時公表 数値	増減額	2014年度	増減額
	上期				通期	通期		通期	
		3Q	4Q予想	下期					
売上高	6,683	3,094	2,973	6,067	12,750	13,000	▲ 250	13,524	▲ 774
営業損益	188	▲ 36	▲ 42	▲ 78	110	240	▲ 130	480	▲ 370
経常損益	160	▲ 42	▲ 48	▲ 90	70	200	▲ 130	490	▲ 420
当期純損益（※）	117	▲ 24	▲ 43	▲ 67	50	120	▲ 70	268	▲ 218
為替レート	¥121.76	¥121.23	¥117.00	¥119.11	¥120.44	¥120.88	¥▲0.44	¥109.19	¥11.25
燃料油価格（消費単価）	\$352	\$271	\$240	\$256	\$304	\$314	▲ \$10	\$541	▲ \$237

（※）親会社株主に帰属する当期純損益

【配当計画】 年間5.0円 中間：2.5円 <実施済> 期末：2.5円 <予定>	【2015年度4Q収支前提】 為替レート：117円 燃料油価格（消費単価）：\$240 / MT	【2015年度4Q変動影響】 為替変動：1円増減⇒±1億円 補油価格前提：\$150 / MT 燃料油価格変動：軽微
---	---	--

A-3-②. 通期業績予想 (セグメント別)

(単位：億円)

セグメント		2015年度					2Q決算時 公表数値	増減額
		上期				通期	通期	
			3Q	4Q予想	下期			
コンテナ船	売上高	3,376	1,451	1,473	2,924	6,300	6,500	▲ 200
	経常損益	31	▲ 74	▲ 57	▲ 131	▲ 100	▲ 30	▲ 70
不定期専用船	売上高	2,967	1,491	1,352	2,843	5,810	5,830	▲ 20
	経常損益	188	75	27	102	290	335	▲ 45
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	150	58	52	110	260	290	▲ 30
	経常損益	▲ 36	▲ 29	▲ 10	▲ 39	▲ 75	▲ 55	▲ 20
その他	売上高	190	94	96	190	380	380	0
	経常損益	9	3	8	11	20	20	0
調整額	売上高	-	-	-	-	-	-	-
	経常損益	▲ 33	▲ 18	▲ 14	▲ 32	▲ 65	▲ 70	5
合計	売上高	6,683	3,094	2,973	6,067	12,750	13,000	▲ 250
	経常損益	160	▲ 42	▲ 48	▲ 90	70	200	▲ 130

2014年度	増減
通期	通期
6,774	▲ 474
206	▲ 306
6,007	▲ 197
365	▲ 75
353	▲ 93
▲ 57	▲ 18
390	▲ 10
30	▲ 10
-	-
▲ 55	▲ 10
13,524	▲ 774
490	▲ 420

A-4. 通期業績変動のポイント

<前年比> 減収（▲774億円）・減益（▲420億円）

（単位：億円）

損益変動要因	前年同期比	概況
為替変動	92	為替11.25円安
燃料油変動	405	燃料油価格\$ 237/MT安
市況変動	▲ 910	コンテナ積高減・運賃下落、ドライバルク船市況低迷
コスト変動	99	コンテナ船をはじめとするコスト削減（スライドA-5ご参照）
その他	▲ 105	為替差損益の変動など
合計	▲ 420	

<前回公表比> 減収（▲250億円）・減益（▲130億円）

（単位：億円）

損益変動要因	前回公表比	概況
為替変動	▲ 2	為替0.44円安
燃料油変動	15	燃料油価格\$10/MT安
市況変動	▲ 150	コンテナ積高減・運賃下落、ドライバルク船市況低迷
コスト変動	▲ 8	
その他	15	その他
合計	▲ 130	

A-5. コスト削減の進捗状況

- ・ 2015年度 期首目標 **137億円**
- ・ 2015年度 最新通期見込 **99億円**

単位(億円)

	期首目標	下期目標		上期実績	下期目標	通期見込	通期 達成度見込
		上期目標	下期目標				
コンテナ船：航路合理化・コスト削減・収益改善	114	62	52	48	22	70	61%
不定期専用船・その他	23	12	11	10	18	29	126%
合計	137	74	63	58	40	99	72%

B. 部門別業績動向



B-1. 部門別業績動向

コンテナ船

<第3四半期累計実績> 前年同期比 減収・損失計上

- ・底堅い米国経済に支えられ、北米航路の荷動きは堅調に推移するも、第3四半期には運賃市況は更に下落
- ・欧州、南北航路は荷動き減少で市況低迷。減便、スペース削減等の航路合理化を実施

<今後のポイント>

- ・東西航路の荷動きと市況動向
- ・アライアンスを通じ需給に即した柔軟なスペース対応と配船効率化による競争力強化
- ・IT活用によるイールドマネジメント強化とコンテナ機器管理強化で収益改善

		2014年度					2015年度			
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績
売上高 (億円)		1,584	1,711	1,743	1,736	6,774	1,717	1,659	3,376	1,451
経常損益 (億円)		22	73	87	24	206	41	▲ 10	31	▲ 74
運賃推移 08年1Q=100	北米往航	97	102	104	106	102	97	93	95	87
	欧州往航	78	78	65	69	73	49	51	50	43
積高 (万TEU)	北米往航	21.3	23.0	21.9	19.6	85.8	24.3	24.8	49.0	21.0
	欧州往航	12.7	12.9	12.0	11.0	48.6	10.3	10.3	20.6	10.1
スペース (万TEU)	北米往航	21.7	23.1	22.3	21.1	88.2	24.3	26.2	50.5	25.8
	欧州往航	13.4	13.9	13.5	12.9	53.8	12.1	12.4	24.5	12.5
消席率 (%)	北米往航	98%	100%	98%	93%	97%	100%	95%	97%	81%
	欧州往航	95%	92%	89%	85%	90%	85%	83%	84%	81%

B-2. 部門別業績動向 不定期専用船 ドライバルク

<第3四半期累計実績> 前年同期比 減収・減益

- ・【大型船】中国の鉄鉱石需要の伸び悩みで輸入量の頭打ちに伴い、総じて市況低迷
- ・【中小型船】中国向け石炭輸送量の大幅減、船腹需給ギャップ拡大で市況低迷継続

<今後のポイント>

- ・【大型船】解撤は進捗するも荷動きの停滞により、市況回復に時間を要す見込み
- ・【中小型船】解撤は進捗するも、新造船の竣工が続き、船腹余剰感が強く、
当面上値の重たい市況推移の見込み
- ・ 中長期契約の確保、効率的配船、支配船隊の縮小等、引き続き収益構造強化に注力

バルク市況 (4T/C Average)	2014年度					2015年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想
ケープ (172型)	\$11,900	\$13,000	\$14,100	\$4,600	\$10,900	\$4,600	\$11,500	\$7,400	\$5,000	\$7,125
パナマックス (74型)	\$6,300	\$5,900	\$8,300	\$4,800	\$6,325	\$5,200	\$7,600	\$4,500	\$5,000	\$5,575
ハンディマックス (52型)	\$9,000	\$8,900	\$9,800	\$6,400	\$8,525	\$6,700	\$8,800	\$5,700	\$6,000	\$6,800
スモールハンディ (28型)	\$7,800	\$6,500	\$7,100	\$5,200	\$6,650	\$5,300	\$6,600	\$5,000	\$5,000	\$5,475

B-3. 部門別業績動向 不定期専用船 自動車船

＜第3四半期累計実績＞ 前年同期比 減収・減益

- ・ 輸送台数 : 2,420千台（前年同期比 微減）
- ・ 中国経済の減速による欧州、北米出しアジア向け貨物の伸び悩み
- ・ ロシア経済の低迷による欧州域内の荷動き減少
- ・ 大西洋域内貨物や、北米及び中近東向けなど日本出し貨物の増量が輸送量を下支え

＜今後のポイント＞

- ・ 完成車のトレード構造の変化に対応した東南アジア諸国出し・大西洋域内における事業基盤強化を継続
- ・ 重建機類・鉄道車両の積載能力の高さと低燃費を併せ持つ次世代大型船を最大限活用
- ・ 日本及びアジア出し、大西洋域内においてHigh & Heavy貨物増量に注力

輸送台数 (千台)	2014年度					2015年度			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	3Q累計
往航	248	280	281	283	1,092	278	300	296	874
復航	80	83	80	66	309	63	70	77	210
三国間	285	251	285	221	1,042	290	267	271	827
欧州域内	208	178	170	172	728	176	161	171	508
合計	821	791	816	743	3,171	807	797	815	2,420
船隊規模（隻数）	98	96	97	102	-	98	102	101	-

B-4. 部門別業績動向 不定期専用船 LNG船・油槽船

＜第3四半期累計実績＞ 前年同期比 増収・増益

【LNG船】 中長期傭船契約のもと、順調稼働

【油槽船】 大型原油船/LPG船 中長期傭船契約のもと、順調稼働
 中型原油船 市況は好調に推移

＜今後のポイント＞

【LNG船】 中長期傭船契約により安定稼働

【油槽船】 大型原油船/LPG船 中長期傭船契約のもとで安定収益の確保
 中型原油船 荷動きの伸びにより、引き続き市況は底堅く推移する見込み
 石油製品船 新造船竣工による供給圧力で、市況の大幅な上昇は見込まず

油槽船市況 (WS)	2014年度					2015年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想
VLCC(中東/日本)	38	45	57	59	50	64	54	75	85	69
	\$12,000	\$20,500	\$46,000	\$59,000	\$34,500	\$63,000	\$56,000	\$92,000	\$75,000	\$71,500
Aframax(南方/日本)	91	102	104	107	101	127	107	107	123	116
	\$14,500	\$19,500	\$25,000	\$29,000	\$22,000	\$37,000	\$32,000	\$33,500	\$28,000	\$32,500
クリーン11万トン型(中東/日本)	88	107	111	98	101	109	132	80	153	119
	\$10,500	\$17,500	\$23,500	\$23,500	\$19,000	\$26,500	\$40,000	\$20,500	\$34,000	\$30,500

2015 年1～3QのWS指標は2015年Flat Rateベース、2015年4QのWS指標は2016年Flat Rateベース。

B-5. 部門別業績動向

海洋資源開発及び重量物船

【海洋資源開発】

＜第3四半期累計実績＞

【オフショア支援船】

【ドリルシップ】

前年同期比 減収・損失拡大

原油価格低迷による海洋開発停滞により
市況は低調に推移

順調に稼働し、長期安定収益の確保に貢献

＜今後のポイント＞

【オフショア支援船】

市況回復には時間を要す見込み

長期契約貨物の獲得等、収益基盤の確立に注力

【ドリルシップ】

引き続き、安定稼働による収益貢献を見込む

【重量物船】

＜第3四半期累計実績＞

前年同期比 減収・損失拡大

セミライナーサービスで欧州出し貨物の荷動き減退
厳しい市況が継続

＜今後のポイント＞

市況は弱含みで推移の見込み

収益性の高いプロジェクト案件の受注に引き続き注力